

日本ミシェル・アンリ哲学会

第十三回研究大会 プログラム

日本ミシェル・アンリ哲学会の第十三回研究大会はオンラインでの開催となります。『現出の本質』は20世紀後半のフランス哲学を代表する古典とも言うべき著作ですが、その中心となるテーゼは明快であるものの、それを導くための議論の細部に関しては、大部の著作だけに未解明の箇所がまだ多く残されています。そこで今回のシンポジウムはテーマを「『現出の本質』の解明」と設定し、「絶対者」という角度からこの著作の内実をさらに明らかにすることを目指して、『現出の本質』の翻訳者の一人である北村晋氏、アンリをはじめとしてフランス現象学を中心に研究する服部敬弘氏、そしてエックハルトを専門とする阿部善彦氏にご登壇いただきます。またシンポジウムに先立ち、アンリとジャン・ヴァールの近さと隔たりをめぐる研究発表と、ルノー賞を受賞したアンリの文学作品『目を閉じて、愛』をめぐるアトリエが行なわれます。

なお、今回、会員には、事前に、メーリングリストを通してZoomのアクセス先をご案内いたします。また、会員以外の方は、お問い合わせいただければ、Zoomのアクセス先をご案内いたしますので、大会に参加希望の方は、下記の事務局までお問い合わせ下さい。

期日：2021年10月9日（土）
オンライン開催（Zoom使用）

【研究発表】

10:00～10:50

樋口雄哉（同志社大学）

「アンリとヴァール：隔たりと隔たりのなさ」

【アトリエ】

11:00～11:50

村松正隆（北海道大学）

「〈生〉と〈文化〉の帰趨——『目を閉じて、愛』を読む」（仮）

12:00～12:45 総会

12:45～13:45 昼食

【シンポジウム】

13:45～16:45

テーマ：「『現出の本質』の解明」

パネラー

阿部善彦（立教大学）

「『現出の本質』でエックハルトが例外的な思想家と評価されていることについて：39節、49節を中心に」

服部敬弘（同志社大学）

「内在と絶対者」

北村晋

「提題への応答」

司会

本郷均（東京電機大学）

日本ミシェル・アンリ哲学会事務局

〒662-8505 西宮市岡田山4-1 神戸女学院大学文学部 川瀬研究室内

Tel/Fax : 0798-51-8677 E-mail : kawase@mail.kobe-c.ac.jp

ホームページ : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~michelhenry/>